

## 出品された一番茶の香りや味を審査 荒茶品質向上を目指し共進会を開催

5月17日、JA鹿児島きもつき大根占支所でお茶の生産や製造力を向上させるために荒茶品質向上共進会が行われました。町内から27名が出品し、味や香り、水色などの4項目で審査。大根占地区では今隈幸洋さんの「やぶきた」が、田代地区では町喜久さんの「やぶきた」がそれぞれ最優秀賞に選ばれました。



錦江町茶業振興会の鳥越逸郎会長は「共進会の評価を参考に生産などに生かし、品質を向上していきたい」と話しました。

自転車で峠や山などの坂を走るヒルクライム。目的地に着いた達成感を味わえることや景色を楽しむこともできるのが魅力。



## 4年ぶりにサイクルジャンボリー開催 新緑に囲まれたコースを力走

5月15日に自転車のヒルクライムロードレース「第14回照葉樹の森サイクルジャンボリー」が開催されました。新型コロナや大雨の影響で4年ぶりの開催となった今回は県内外から約130名が参加。照葉樹の森特設コース11kmに挑戦した参加者は必死にペダルを踏みこんで曲がりくねる連続する急激な坂に挑んでいました。

3月26日に開店し、テレビ番組で紹介されて町内外から多くの方が来店。営業は金、土曜日の午前9時から午後1時まで。



## 有人販売所で半下石の活性化を 地元の交流場「つちのこの里」

半下石の女性会20名程が発案し、生きがいきりりと地域活性化のために設置した有人販売所の「つちのこの里」。販売所では地元で取れた野菜や花など季節のものが並び、町内外から訪れる人との、交流の場にもなっています。民生委員の半下石良子さんは「これからどんな季節のものが並ぶか楽しみ」と話しました。

## 畜産農家を応援するために自主制作 きもつき愛牛会からCD寄贈

5月11日、きもつき愛牛会から畜産を応援するために制作した「翔け！きもつき黒牛甚句」が寄贈されました。2019年2月に「きもつき牛」の改良や振興への貢献を目的に発足し、現在7名で活動。きもつき愛牛会の江口一男会長は「飼料高騰などで厳しい状況の畜産農家を元気にしていきたい」と思いを語りました。



今年10月に開催される第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会に出場する肝属地区の生産者にもCDを配布する予定です。

「マリーンパークたるみず」の田屋敷幸太さんが児童たちに指導。海で遊んだ後は片手で拾えるゴミを持ち帰り、海をきれいにしていく活動であるワンハンドクリーンも紹介しました。



## 錦江町の海にいる生き物を観察 ふるさとの海体験活動

地元の海に親しみを持ってほしいと2年前から始まった「ふるさとの海体験活動」が5月18日に大根占海岸で行われました。参加した大根占小6年生25名はカヌーやサップで消波ブロック周辺まで漕ぎ、錦江町の海にいる生き物を観察。川崎起駿くんは「カヌーやサップを初めて体験できて楽しかった。エイも発見できた」と笑顔で答えました。

## 子どもたちが思い描く理想の公園完成 ツリーハウスの完成お披露目会

昨年5月から取り組んできた大橋児童公園のツリーハウスが完成し、5月28日にお披露目会が行われました。町内小学生10名が「自分たちだけでなく全世代が楽しめる」をテーマに理想の公園を考え、屋根やウッドデッキを作るのも児童中心で作業。看板やネームプレートを作成する最後のワークショップも行われました。



田島あさひさんと永田紗彩さんは「ペンキ塗りが楽しかった。公園の雰囲気が明るくなって嬉しい」と完成を喜んでいました。

南部消防署の楠原新一郎署長は「浴槽の水を使用した判断と行動力が素晴らしく、住民の意識の高さを感じた」と称えました。



## 住民みんなのバケツリレーで初期消火 消火活動で皆倉自治会に感謝状授与

5月17日、南部消防署でバケツリレーによる初期消火で延焼を抑えたとして皆倉自治会へ感謝状の授与が行われました。4月10日の昼前にトラクターが燃える火災が発生し、住民10名以上がバケツリレーを行い消防隊が到着する前に鎮火。皆倉自治会の諏訪原美義会長は「昨年実施した訓練が役に立ち嬉しい」と話しました。